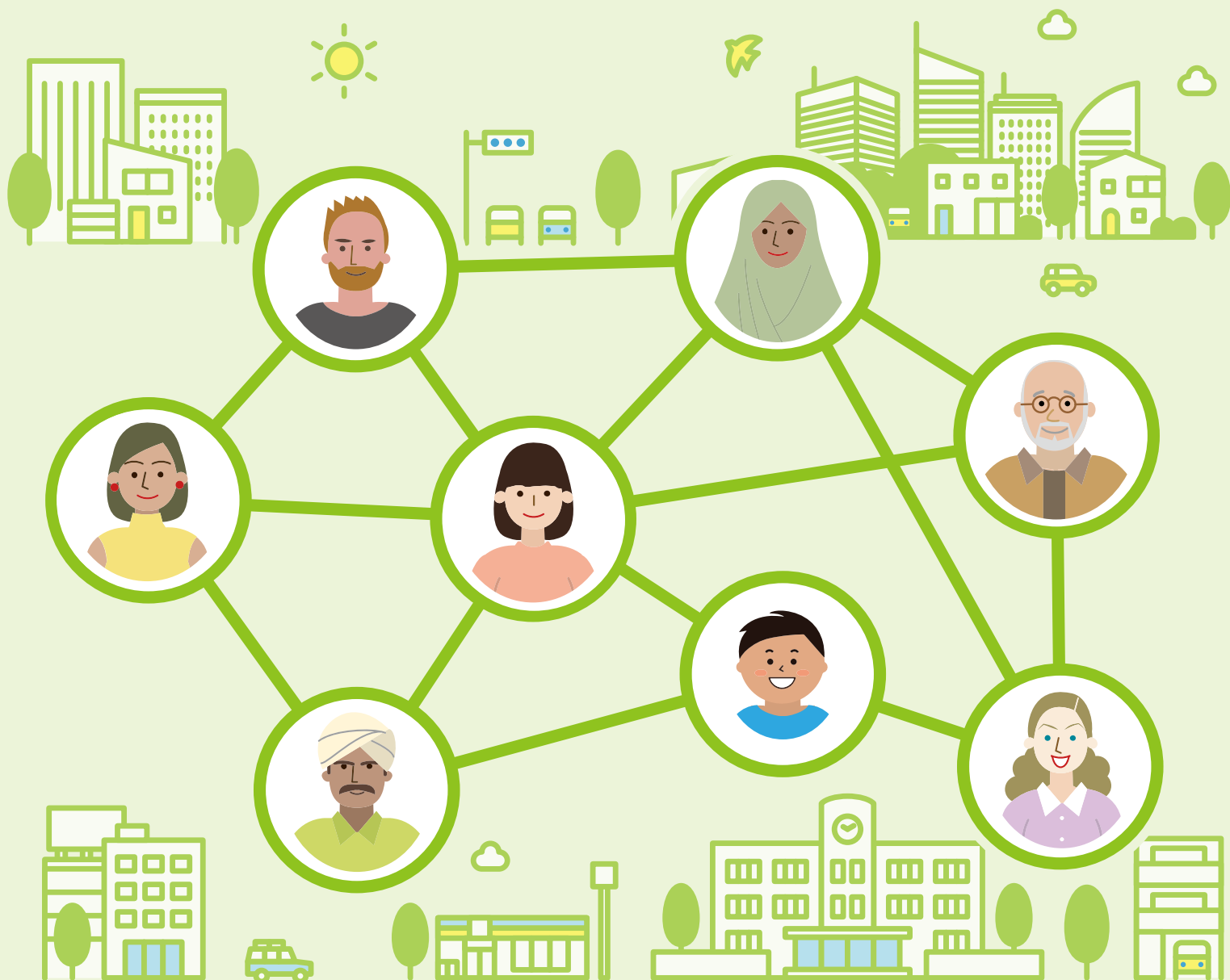


# 多文化共生 ってなに？

多様性を認め、お互いに支え合う  
誰もがいきいきと暮らし、誇りを持てるまちへ





# 最近、近所で外国人を見かける機会が増えてない？

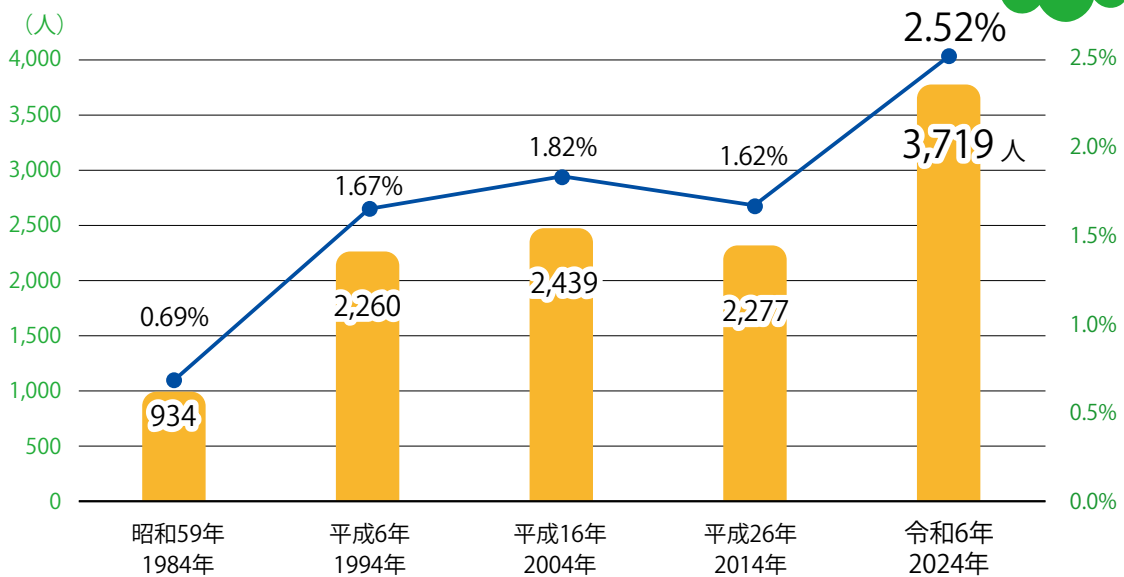
令和5年6月の**全国の在留外国人(日本で暮らす外国人)**は**322万3,858人**で、**過去最高**を更新しました。

世界的な経済不況や感染症の影響による一時的な減少はあったものの、全国的に外国人の住民が増える中、武蔵野市でも同様に、令和6年1月時点で**3,719人**、市の**総人口に占める割合は2.52%**と、過去最高を更新しています。

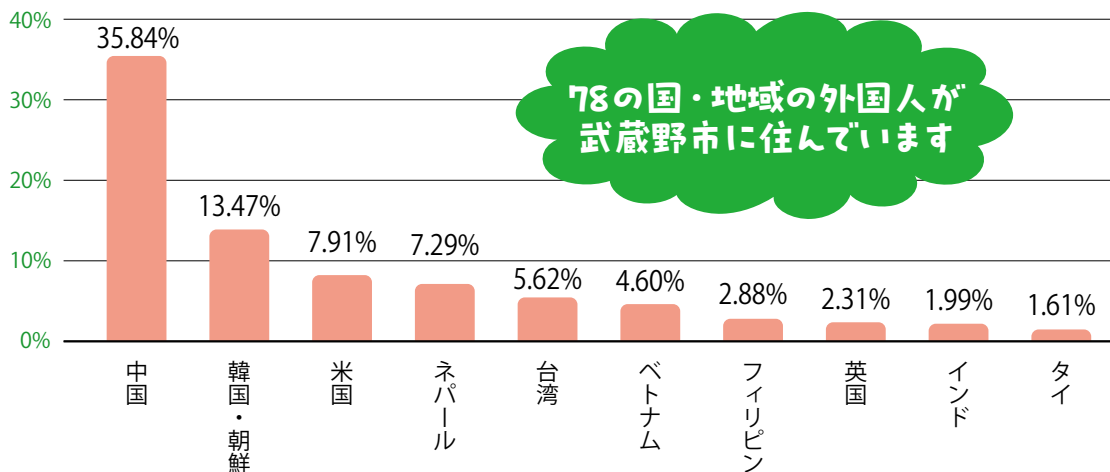
国・地域別では中国、韓国・朝鮮、米国の順に多く、米国、ネパール、台湾の人の占める割合が高いのが武蔵野市の特徴です。

## 武蔵野市の外国人人口と割合 ※各年1月1日現在

過去最高更新



## 国・地域別の状況 (令和6年1月1日現在)



78の国・地域の外国人が武蔵野市に住んでいます



# 最近よく聞く「多文化共生」ってなに？

日本に住む外国人は、日本に滞在する目的や立場に応じた資格（在留資格）を持っています。



日々生活している中でも、外国人とすれちがったり、お店の店員さんが外国人だったり、いまや外国人と接することは特別なことではなくなりました。学校や保育園等には、外国にルーツをもつ子どももかよっています。

また、日頃から日本語を使って日本社会に溶け込んでいる人もいれば、日本語はまだまだこれからの人や、日本人との接点がなく日本のルールをよく知らない人もいます。

地域には、外国人をはじめさまざまな方が暮らしています。お互いにコミュニケーションをとりながら支え合って、誰もが暮らしやすい地域をつくっていくことが求められます。

「多文化共生」とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的差異（ちがい）を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことをいいます。



# これってホント？



## ごみ出しにルールがあることを知らない外国人がいる？

自治体によってごみ出しのルールは様々で、日本人でも引っ越した時には戸惑うことがあります。分別方法、ごみを出す日、出す場所、専用の袋の購入…。

ごみ置き場に乱雑に置かれたごみを見て、「外国人はごみ出しのルールを守らない！」という印象を持つ方もいるかもしれません。

でも、本当にルールを守っていないのか、それともルールをよく知らない・わからないから守られていないのか、どちらなのでしょう？



### ごみ便利帳ecoブック

武蔵野市では、ごみ便利帳ecoブックの英語版・中国語版を市ホームページで公開しています。

お困りの外国人が近くにいたら紹介してください！

## 地震や台風を知らない外国人がいる？



地震は、日本人にとっては身近な自然災害ですが、外国人の中には、生まれてから一度も経験したことがない人もいます。いつ来てもおかしくないと言われている首都直下型地震への備えは、市内に住む外国人にとっても重要です。

また、台風に馴染みがない外国人もいて、電車が止まる、店が休業する、学校が休みになるといったことを知らず、何の対策もとらないまま台風接近の日を迎えてしまうこともあるといいます。

## 日本語は意外と通じる？

「英語に自信がなくて外国人と話せない」、「どこの国の人かわからないからどこの言葉で話しかけたらいいかわからない」…ご近所の外国人と話そうと思っても、そんな戸惑いがあって声をかけられないかもしれません。

しかし、武蔵野市が令和3年に行った「外国籍市民意識調査」では、かんたんな日本語だったら読める・聞ける・話せるという回答が8割前後という結果でした。

ゆっくり、わかりやすい言葉を選んで話しかければ、日本語で会話ができるかもしれません。



### やさしい日本語

難しい言葉を言い換える、漢字をひらがなにしたり振り仮名をふるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語として、「やさしい日本語」が注目されています。やさしい日本語については最後のページをご覧ください。

## 地域の日本人と知り合いになりたいと思っている？



「ご近所付き合い」なんて古い日本の話、外国は個人主義というし、日本人に興味はないのでは？…しかし、「外国籍市民意識調査」で地域に日本人の知り合いがほしいか尋ねたところ、もっと増やしたいという回答が50%という結果でした。

日頃はあいさつ程度しか交流のない人も、もっといろいろなことを気軽に話せるような知り合いになりたいと思っているのかもしれません。



武蔵野市外国籍市民意識調査



# 何から始めたらいいんだろう？

外国人と話したことがない

なんか不安…

いきなり話しかけるのは勇気がいる

**まずは楽しみながら交流を試してみませんか。**



**公益財団法人 武蔵野市国際交流協会 (MIA)**

Musashino International Association

MIAは、だれもが暮らしやすい安全安心なまち、みんなが活躍できるまち、国際平和につながる開かれたまちをつくることを目指し、多文化共生のまちづくりや在住外国人支援をしています。

## 外国人のサポートをしたい！

MIAの特徴は、ボランティアの方々が自分の力を生かして、無理のない範囲で活動しているところです。外国語が得意でない人も、いろいろな形でご参加いただけます。



## 外国人とふれあってじっくり話してみたい！



大学が多い地域特性を踏まえ、留学生のホームビジットを受け入れる活動をしています。ご家庭と一緒に料理を作ったり、少しお出かけしてみたり、楽しく交流をすることができます。

## いろいろな文化を体験したい！

MIA会員の外国人ボランティアによる、家庭料理、工芸、故郷の文化紹介など、さまざまな講座を開いています。親子向けのものもあり、市内で楽しく異文化を体験することができます。



## 最新情報はMIAホームページをご覧ください



公益財団法人 武蔵野市国際交流協会 (武蔵野市境2-14-1 スイグ9階)

電話：0422-36-4511

開館：火曜日～土曜日 (日曜・月曜・祝日・年末年始休み) 午前9時～午後5時





# 武蔵野市はどんなことをしているの？

多文化共生の地域づくりを推し進めるために、国は地方公共団体に対し、「多文化共生推進プラン」を策定するよう要請しています。これを受けて、令和4年度に「武蔵野市多文化共生推進プラン」を策定し、外国人市民\*もいきいきと安心して暮らすことができるまちになることをめざしています。



武蔵野市  
多文化共生推進プラン

## 基本的な考え方

### 多様性を認め、お互いに支え合う 誰もがいきいきと暮らし、誇りを持てるまちへ

#### 1 誰もが暮らしやすい地域共生社会の形成

- ・多文化共生を知るきっかけづくり
- ・青少年の海外派遣事業による多様な文化の理解促進
- ・M I Aのボランティア活動の広がり支援



アメリカ・ラボック市へのジュニア交流団派遣

#### 2 生活を支えるコミュニケーション支援と情報発信の強化

- ・市役所窓口や広報の多言語対応
- ・「やさしい日本語」など相手に伝わる日本語の工夫
- ・日本語教育の推進



オンライン通訳を利用した窓口対応

#### 3 誰もが安心して地域生活を送るための環境整備

- ・防災意識の啓発、災害時の支援体制の整備
- ・教育機会の確保
- ・ライフステージに応じた支援の連携



転入時に配布している防災チラシ

#### \*外国人市民とは？

外国籍を有する武蔵野市在住・在勤・在学の市民に加え、日本国籍を有していても文化的背景などが外国にある市民なども広く含みます。これは、日本国籍であっても海外で生まれ育ち日本語が話せない人や、外国籍であっても日本で生まれ育った人など、さまざまな方がいらっしゃるからです。



# 知っておくと便利!

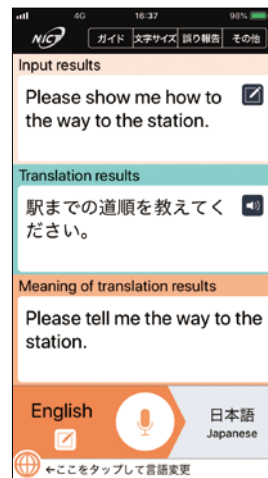
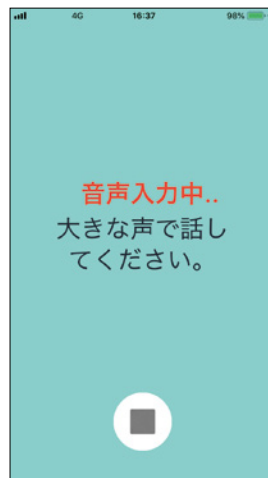


## VoiceTra (ボイストラ)

話しかけると外国語に翻訳してくれる音声翻訳アプリです。国立研究開発法人情報通信研究機構が開発しました。利用に際して課金はありません。スマートフォンにアプリを入れておけば、いつでも使えます。

なお、このアプリは、個人の旅行者の試用を想定して作られた研究用アプリであり、研究目的のサーバーを使用しています。

※インターネット接続によるデータ通信あり。通信料は利用者負担となります。



くわしくはこちら

## やさしい日本語

やさしい日本語は、難しい言葉やあいまいな表現を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。

決まったルールはありませんが、文化庁がガイドラインを定めています。相手の日本語レベルに応じた対応が求められます。

### 例：難しい言葉

飲み物以外は必要ありません。  
→ 飲み物を持ってきてください。

### 例：あいまいな表現

結構です。 → 良いです。 / → ありません。 } どちらの意味?

在留支援のためのやさしい日本語ガイドラインほか  
(文化庁ホームページ)



発行 令和6年2月  
制作 武蔵野市 市民部 多文化共生・交流課  
電話 0422-60-1806

